



# Japan Quartz Club

## 施工5年後のクォーツガラスコーティングをレポート

PHOTOGRAPHS BY HIDEAKI TSUBAI



空気中の水分と化学反応を起こし、SO<sub>2</sub>(石炭酸)の膜に変化するクォーツガラスコーティング。1μm以下の薄いガラス膜



川西鋳金工業では博物館で展示される和紙製美術品への施工も行ったり、技術は折紙付き

施工後はメンテナンスキットと今回のショップでは保証書が手渡される。ちなみに下の写真の保証書は今回取材した車両のもの、効果が本物であることがわかる。



### 水洗い洗車のみで美しさは半永久的に持続

- 11 「新車以上の見せ方」を意識して、5年前に施工した同車両。効果を検証するため洗車
- 121 今回は同時にポリスチレンナーを用いて細かなトコロにまで入り込んだ汚れも落としてみた
- 131 今回は自分では出来ない鉄粉やタール除去等の掃除も行った。簡単に落とすことができた
- 141 どうしても取れない汚れは洗剤を使って落としてみた。もちろんワックス掛けは必要なし
- 151 最後に吹き上げ。今回は特別な洗車を施したが、基本的には水洗いのみで、10年近く持続する
- 161 ~ 171 5年経ったボディとは思えないほどの輝きを誇る。ホイールにおいても、ブレーキダストを簡単に落とすことができた。川西鋳金工業ではエンブレムやワチなど徹底的に施工を行う



窓ガラスに近い親水性を持つこのコーティングはEクラスで施工料金は¥136,500と安い

ガラスコーティング。その特長や効能は本誌でも数多くレポートされ、広く知られるところではあるが、読者の皆さんも一番気になるのは、実際本当のところはどの位の期間、どの程度、持続するのかを知りたいと言うのが本音であろう。そこで今回はクォーツガラスコーティングの施工5年後の車両に直面する機会に恵まれたので、取材した。車両はクォーツガラスコーティングの認定ショップ&研修センターでもある川西鋳金工業で仕上げたW211。新車での納車

と同時に施工され、その後、約5年で12万キロを走破したというクルマである。車両は屋外保管にも関わらず、ボディ面はウォータースポット等が付いていない。艶やかな塗装面と親水効果は今でもしっかりと保たれていて、汚れも目立たないのだ。今回、5年後の状態を把握するため、上記工程にもあるように特別に洗車を行ったワケだが、なかでもビックリしたのがホイール汚れの落ち方だ。欧州車といえば、ブレーキが堅牢に作られているために、ブレーキダスト

トが出やすく、手入れを怠っているとすぐにそのダストが定着し、取れにくくなるもの。しかしこの車両においては、水洗いのみでたったカンタンにブレーキダストの汚れが落ち、新品のように輝く。その手入れの良さが実証できたのだ。有機物を全く含まない石英ガラス膜のクォーツガラスコーティング。今回取材させて頂いた川西鋳金工業をはじめ、北海道から全国各地に施工店を展開している。詳しくはホームページで確認し、その驚きの効果を体感してほしい。

取材協力  
**川西鋳金工業**  
滋賀県東近江市芝原町299  
☎0748-22-6315  
営業時間 / 8:30~18:00  
定休日 / 土曜日、日曜日、祝日  
※第1、3土曜日は通常営業  
<http://www.quartz-gc.com/kawanishi/>